

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	光明第七こども園
活動日時	2024.12.4
クラス名（年齢）	全園児（0～5歳児）
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

《テーマ》

動物と触れ合う

《テーマの設定理由》

毎年園に招いている移動動物園に参加し、身近な小動物との触れ合いを通じて感触の違いや命の大切さにも気づく機会としたいと考えた。

2. 活動スケジュール

1グループ30分として時間で分けて行う。乳児クラスは準備ができ次第参加する。

3. 探求活動の実践

《活動の内容》（活動のために準備した素材や道具、環境の設定）

ニワトリやヒヨコ、ウサギなどの小動物に優しく触れたり、体温を感じたりして大切に扱おうとする。キャベツやニンジンを与えて食べ方にも関心を寄せる。

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り》

乳児クラスの子が動き回るヒヨコに興味をひかれ触ってみようと手を伸ばしました。「ふわふわしてるね」「あたたかいね～」と保育者が話し掛けると手を左右に動かしてヒヨコの体をさすっていました。保育者がネズミをてに乗せて見せると、じっと見つめたり背中をなでる姿もありました。

幼児クラスの子は体に3羽ニワトリを乗せてもらい「おもしろい」と話していました。友達からも「すごいね！」と言われて嬉しそうにしていました。

「葉っぱあげてみよう」「キャベツ食べるかな～」と友達を誘ってエサを与えていました。

ニシキヘビを首に巻くのに挑戦。「どんなかんじ?」「つめたーい」「どうしてヘビはつめたいの?」と質問もしていました。



4. 振り返り

《振り返りにより得た保育者の気づき》

動物と触れ合うことで、羽の質感や毛の感触、体温を感じている様子が伝わった。また、触れ合う中でどのような物を食べるのか、どうしてヘビは冷たいのかなど子ども達なりに疑問を持っていた。生き物を大切にしようとする気持ちにもつながった。